



第86回定期地方本部大会発言要旨

福井代議員

(福山地区)



第86回定期地方本部大会岡山地区

職場の企画

グループがフレックスタイムになり、勤務が制限され、夜勤ができないのか。作業責任者と保守用車責任者を兼ねているが、JRは兼務手当は出ないのは問題だ。

グラントシニアの採用人数を会社都合でするのは問題だ。

メッセージ

社民党・共産党・太平よしのぶ元衆議院議員・大塚愛良議員・鬼木のぞみ岡山市議会議員・JAL不当解雇撤回闘争団・JAL被解雇者労働組合・自治労連・高教組・自治労岡山市現業・アイ女性会議・中国労働金庫・国労家族会・国労退職者の会・こくみん共済・広島地本・近畿地本・米子地本・北陸地本・高崎地本・千葉地本

藤江代議員

(福山地区)



第86回定期地方本部大会岡山地区

24春闘は、社員の労苦に背を向けている。

ストライキ通告を背景にした運動が必要だ。ストライキにも経験が必要だ。駅の無人化反対・ローカル線廃止反対宣伝行動をしてきたが、全国統一行動としてやっていただきたい。

組織拡大は目に見える運動を粘り強く奮闘していくことが必要だ。

木下代議員

(岡山連合)



第86回定期地方本部大会岡山地区

会社は職場の所要員を出さないのはおかしい。

岡山から中庄まで列車監視をしているが、旅費がつかないのはなぜなのか。

市川代議員

(岡山連合)



第86回定期地方本部大会岡山地区

これからの地本のあり方について、先送り感があり、早急にしてもらいたい。227系電車の導入が拡大され、ワンマン化されていく。

車掌がいらなくなるが、

車掌職場の確保が重要になる。

酒井代議員

(岡山連合)



第86回定期地方本部大会岡山地区

駅の窓口がなくなり、遠隔MVになったが、遠隔MVの営業時間が縮小し、利

書記長集約

青山書記長が集約した。

◇組織強化・拡大について

地方本部は、現在43人で、来年は9名が退職予定という状況で組織の状況は各級機関の役員体制も厳しい状況である。

コロナ感染症が完全終息していない状況下ではあるが組織拡大については何もしなければ現状の打破はない。コロナ禍でも仙台、近畿地本で大会以降、拡大は続いている。今できる取り組みをする事で必ず成果に現れる。地方本部として「動き無くして拡大はあり得ない」という意思統一のもと、必ず1年の間にまずは1名の拡大に皆が動いて頂きたい。

6名の代議員の発言にっ

用者の為の施策ではない。乗務員のグラントシニア社員への採用をしてほしい。

佐藤代議員

(岡山連合)



第86回定期地方本部大会岡山地区

会社は、熱中症対策として、空調服を支給

いて4点集約します。

①JR安全輸送確立、人減らし合理化反対、労働条件改善・権利確立の取組について

①ローカル線を守る闘いについては4月に「地方公共交通の活性化及び再生に関する法律」が成立。

芸備線の「再構築協議会」が開かれているがJRと自治体の意見は対立している。三次高校の生徒達は「芸備線を盛上げる会」やサミットなどを開催しローカル線存続に取組んでいる。

②駅無人化反対の取組 岡山支社内154駅の内、窓口が開いているのは8つしかなく中統はまたしても北長瀬と大元駅に遠隔MVを設置し窓口閉鎖をするとしている。断固阻止しなければいけない。

②2025年春闘の取組について

しているが、線路巡回をしていると、効果が無い。気温が何度以上だと外の作業が出来ないようにしてもらいたい。要員問題で各資格者が半分しかない。

人員の確保と適切な要員配置をしてほしい。

③組織強化・拡大の取組について

第92回全国大会にて地方本部の再編の規約改正が行われ、「地方本部の再編は、エリア内において行うことができる」とした。

組織形態をどうするのか組織人員が減少する中でメリット、デメリットを考えなければならぬ。次世代に引き継ぐ国労運動前進のために奮闘していく。

④憲法改悪反対、反原発、平和を守る取組

世界的にロシアによるウクライナ侵略、イスラエルによるハマスへの戦闘というように、戦争による死者が毎日報道されている。戦争反対の声を上げて行く。